

7月15日(土)から 「相模鉄道アルミ車両運行50周年記念 入場券セット」を新発売

相模鉄道株式会社

相鉄グループの相模鉄道(株)(本社・横浜市西区、社長・滝澤秀之)では、2017年(平成29年)7月15日(土)から「相模鉄道アルミ車両運行50周年記念入場券セット」を発売します。

これは、相鉄で初のアルミ車両となる6000系(6021号車)が1967年(昭和42年)7月に運行を開始してから今年で50周年を迎えることから発売するものです。この入場券セットは、歴代のアルミ車両をデザインして、相鉄線8駅(横浜駅・星川駅・西谷駅・二俣川駅・大和駅・海老名駅・いずみ野駅・湘南台駅)のD型硬券入場券を台紙にまとめた他、特製ホログラムカードが1枚付いたセットになっています。

今回の発売を記念して「相模鉄道アルミ車両運行50周年記念入場券セット」を抽選で5名様にプレゼントします。

概要は別紙のとおりです。



相鉄初のアルミ車両6000系(6021号車)(左)と2016年に登場した9000系リニューアル車両(右)

なお本日、この資料は次の記者クラブにお届けしています。

- 国土交通記者会 ○神奈川県政記者クラブ ○横浜市政記者会 ○横浜経済記者クラブ
○大和市記者クラブ ○厚木市記者クラブ

本件に関するお問い合わせは

相鉄ビジネスサービス(株)総務広報サービス部(広報担当) 045-319-2057 とびかわ 飛川・山中

「相模鉄道アルミ車両運行50周年記念入場券セット」の概要

1. 商品名
「相模鉄道アルミ車両運行50周年記念入場券セット」
2. 発売価格
1,200円(税込み)
3. 発売数量
2,000セット ※お1人様1回のご購入に付き5セットまで
4. 商品内容
 - ・D型硬券入場券(相鉄線の横浜駅・星川駅・西谷駅・二俣川駅・大和駅・海老名駅・いずみ野駅・湘南台駅)8枚セット 各駅の入場券には代表的なアルミ車両がデザインされています。
 - ・台紙サイズ(二つ折り)縦297mm×横394mm
 - ・特製ホログラムカード1枚付き(カードサイズ縦55mm×横91mm)
表面は当社初のアルミ車両6021号車、裏面は最新の9000系リニューアル車両をデザイン。



記念入場券セット(台紙付き)イメージ

5. 発売場所
 - ①2017年(平成29年)7月15日(土)～8月31日(木)
相鉄線 横浜駅・星川駅・西谷駅・二俣川駅・大和駅・海老名駅・いずみ野駅・湘南台駅 計8駅
 - ②2017年(平成29年)9月1日(金)～12月29日(金)
相鉄グッズショップ そうにゃん(相鉄線 海老名駅改札外コンコース)
営業時間 11:00～18:00
※その他、各種イベント会場でも販売予定

「相模鉄道アルミ車両運行50周年記念入場券セット」プレゼントの概要

1. 宛先
はがきに ①氏名 ②郵便番号 ③住所 ④年齢 ⑤電話番号 ⑥プレゼント企画を何でお知りになったかをご記入の上、以下の宛先にご応募ください。
〒220-0004 横浜市西区北幸2-9-14
相模鉄道(株)営業部営業企画課「入場券プレゼント」係宛
2. 応募期間
2017年(平成29年)7月31日(月)当日消印有効
3. 発表
応募者多数の場合は抽選とし、当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。
4. その他
ご応募いただいたお客様の個人情報は適正に管理し、当選者へのプレゼントの発送以外の目的には一切使用しません。

お問い合わせ 相鉄お客様センター 電話045-319-2111
平日 9:00～19:00、土・休日 9:00～17:00

相模鉄道アルミ車両運行50周年の歴史

形式 (号車)	運行開始年月	概要
6000系 (6021号車)	1967年 (昭和42年) 7月	6000系の1両を相鉄で初めてのアルミ車両として試作。
2100系	1970年 (昭和45年) 5月	昭和30年前後に、主力であった2000系をアルミ車体に改造。
5100系	1972年 (昭和47年) 8月	5000系を2100系に続いてアルミ車両に改造して、5100系とした。日本で初めて「ボタン式自動窓」を採用。
7000系	1975年 (昭和50年) 9月	従来の鉄製の車両とは異なり、アルミ車体のため、軽量で腐食がしにくい経済的な高性能電車。
新7000系 (旧塗装)	1986年 (昭和61年) 4月	前面デザインの一新や車内案内表示器を新設。昭和63年8月からさらに高性能で経済性に優れたVVVFインバータ制御装置を搭載。
新7000系 (新塗装)	2007年 (平成19年) 12月	
8000系 (旧塗装)	1990年 (平成2年) 12月	大容量のVVVFインバータ制御装置と車両情報装置などを採用。また平成5年2月に導入した編成から、9000系同様の車いすスペースと非常通報装置を設置。
8000系 (新塗装)	2007年 (平成19年) 10月	
9000系 (旧塗装)	1993年 (平成5年) 1月	先頭車両の前面には大きな曲面ガラスが取り付けられ、スピード感のある前面傾斜型のデザインとなっており、相鉄の車両では初の車いすスペースと非常通報装置のほか、8000系同様、大容量のVVVFインバータ制御装置と車両情報装置などを採用。
9000系 (新塗装)	2007年 (平成19年) 4月	
モヤ700形	2006年 (平成18年) 8月	7000系電車を改造し、かしわ台駅にある電車基地内の入れ替えや架線観測作業、万が一の事故復旧の役割を担っている。4両1編成で運用中。
9000系 (リニューアル車両)	2016年 (平成28年) 4月	創立100周年と都心への乗り入れを視野に入れ、快適性・デザイン性を向上させた車両。車体は横浜をイメージしたヨコハマネイビーブルーに塗装。車内は全体をグレートーンで統一し、スコットランド製の本革をボックスシートに導入したほか、昼と夜で色調が変化する調光・調色機能付きの車内照明を採用。
20000系	2017年 (平成29年) 12月予定	平成34年度下期に開業予定の相鉄・東急直通線の車両。「デザインブランドアッププロジェクト」のコンセプトを反映した。

旧塗装とは・・・赤い帯が特徴的なデザイン

新塗装とは・・・相鉄の新コーポレートカラーを採用したデザイン